

## 特集

# 「人口減少が進む さぬき市に暮らす」

今月は、さまざまな人達がその特性を活かしてまちづくりに参画する試みとして、「さぬき市地域未来づくり会議」と、9月に開設した市の公式インスタグラムを中心にお伝えするとともに、地域で行われているまちづくり活動についても改めて紹介します。

さぬき市地域未来づくり会議の様子

## さぬき市 地域未来づくり会議

昨年4月、市では、若者の視点からの意見やアイデアを市の地域課題の解決や今後の魅力的なまちづくりに活かし、いつまでも住みたい・住み続けたいまちの実現に繋げていくため、「さぬき市地域未来づくり会議」を立ち上げ、まちづくりに関心が深い若者5名を委員として選任しました。

会議では、最初に各委員が感じているさまざまな市の課題の中から、「人口減少対策」、「空き家対策」、「戦略的情報発信」の3つのテーマを取り上げ、解決策について議論していくこととしました。

議論の過程では、各テーマに関係する市役所の担当課の職員も同席し、現状や課題感などを共有しながら、解決のためのアイデアを出し合いました。すぐに実行に移せるアイデアについては、その場で提案し採用されたものもあります。



▲会議での提案で実現した移住体験ハウスの利用者ノートやマップ

一方、議論を続ける中で、たとえ有効なアイデアを提案できなくても、市(行政)、そして限られた数の職員だけでやり切ることには限界があるのではないかと、意見から、市だけでなく民間の力を借りて課題を解決する仕組みを取り入れていくことについて議論していくことになりました。

そこで、官民連携の取り組みが進んでいる先進事例の情報収集を手始めに、先進自治体への視察なども行う中で、まず市の課題解決に向けた官民連携の提案を受け付ける総合的な窓口となる専用のサイトを設けることが第一歩ではないかという結論に至りました。

会議を始めて1年が過ぎた本年4月には、市長などに対し、これまでの成果として、取り上げた3つのテーマに対する課題感や解決策のほか、民間と連携した課題解決の仕組みの重要性と総合的な窓口となる専用サイトの開設を行いたいことなどを報告しました。



▲本年4月に行われた市長などへの活動報告会